

研究紀要

1 研究主題

「自らの将来を切り拓くキャリア発達を目指して」 ～学びと社会を結ぶキャリア教育の実践～

2 研究仮説

総合的な学習の時間を中心として3年間の系統立てたキャリア教育を実施し、各教科の授業で地域や企業と連携した学習を取り入れることで、生徒の学びと社会を結びつけ、自らの未来を主体的に考え、選択し、切り拓いていく力を育むことができるであろう。また、教育活動全体を通してキャリア発達を促す共通実践を行うことで、キャリア発達に関わる資質・能力を育むことができるであろう。

3 研究構想図

研究主題

「自らの将来を切り拓くキャリア発達を目指して」
～学びと社会を結ぶキャリア教育の実践～

働くことの意義を考え、
学習と自分の将来との
つながりを知る。

第1学年

【人間関係形成・社会形成能力】
他者の良さを理解し、尊重する。進んでコミュニケーションを図ろうとする。

【自己理解・自己管理能力】
自分の良さや個性を理解し、自分の役割を果たそうとする。

【課題対応能力】
自らの課題を理解し、粘り強く取り組もうとする。

【キャリアプランニング能力】
自分の将来の夢や職業について考えようとする。

地域で働く人々との交流を通して、働くことについて考える。

第2学年

【人間関係形成・社会形成能力】
自分の考えを伝えるとともに、異なる考えに対しても尊重しようとする気持ちを持ち、より良い人間関係を築こうとする。

【自己理解・自己管理能力】
自分の役割を理解し、自分を律しながら進んで活動に取り組もうとする。

【課題対応能力】
学んだ知識や経験、他者の意見などを活用しながら、課題に取り組もうとする。

【キャリアプランニング能力】
様々な職業や卒業後の選択肢を知り、自分の生き方について考えようとする。

自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための道筋を考える。

第3学年

【人間関係形成・社会形成能力】
より良い社会の形成に向け、自分の立場を理解し、他者と協力しながら行動しようとする。

【自己理解・自己管理能力】
自分の責任を自覚した上で主体的にすべきことを考えて実行しようとする。

【課題対応能力】
様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を解決しようとする。

【キャリアプランニング能力】
具体的な自分の将来を思い描き、自分の力で進路計画を立てようとする。

職業的・社会的自立

4 研究組織



5 研究内容 (2つの柱)

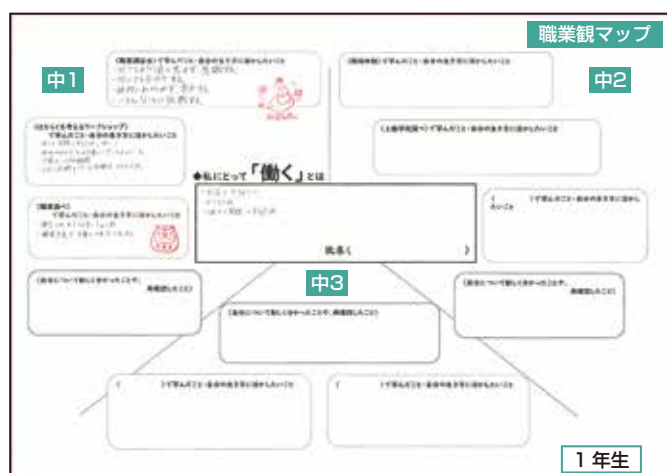
柱Ⅰ 地域・民間企業と連携したキャリア教育

(1) 系統的な学びの実践

1年生	私の生き方を求めてⅠ ～働く人から学ぼう～	系統的な学び	キャリア学習オリエンテーション 職業講話、職業インタビュー、職業調べ	事前・事後指導の充実
2年生	私の生き方を求めてⅡ ～これからの進路選択を考えよう～		職場体験学習 上級学校調べ	
3年生	私の生き方を求めてⅢ ～これからの生き方を考えよう～		ライフプランニング学習	



<職業観マップ>



(2) 専門性を有した社会人講師による授業

【実践例】

- ・ パーソルキャリア株式会社による出前授業（1, 2年生 総合的な学習の時間）
- ・ 株式会社長崎経済研究所による出前授業（3年生 総合的な学習の時間）
- ・ 管公学生服株式会社によるマナー講座（2, 3年生 総合的な学習の時間）
- ・ ソニー生命保険株式会社によるライフプランニング学習（1年生 総合的な学習の時間）



(3) 地域及び自治体との連携

【実践例】

- ・ 職業インタビュー及び職場体験先の新規開拓
R5年度 31事業所 ⇒ R6年度 54事業所
- ・ 長与町役場及び西そのぎ商工会との連携
協力企業の募集（広報誌の活用等）



柱II キャリア発達に関わる資質・能力の向上

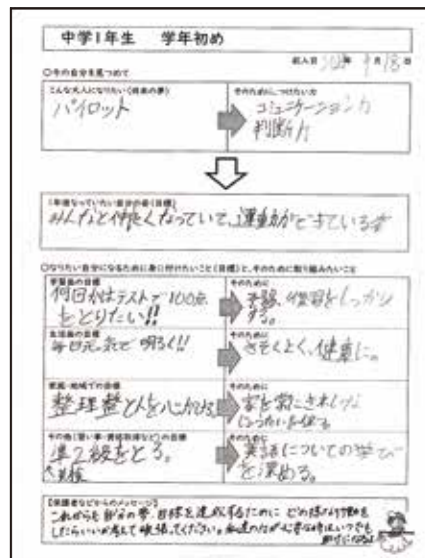
【実践例】

- ・ キャリアアンケートの実施・分析
- ・ キャリア目標の設定とキャリアパスポートの見直し（保護者との連携）
- ・ PDCAサイクルを意識した学級活動、生徒会活動
(例) Nichu Diary（生活ノート）及び試験前の学習計画、いじめ対策特別委員会の取組
- ・ 各教科との連携

< Nichu Diary >



< キャリアパスポート >



6 研究まとめ

(1) 研究の成果

①～③により、本研究の成果を検証した。(研究資料 P8 参照)

①【キャリアアンケート結果より】 ※毎年7月に実施(全学年)

	人間関係形成・ 社会形成能力	自己理解・ 自己管理能力	課題対応能力	キャリア プランニング能力
令和4年度7月実施	3.35	2.98	3.17	2.89
令和5年度7月実施	3.35	3.03	3.15	3.04
令和6年度7月実施	3.45	3.08	3.19	3.17
3年間での増減	+0.10	+0.10	+0.02	+0.28

②【全国学力・学習状況調査結果より】 ※令和6年4月実施(第3学年)

※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒の割合を比較

質問番号	質問事項	本校	全国	差
(9)	自分には、よいところがあると思いますか。	91.4	83.3	+8.1
(11)	将来の夢や目標を持っていますか。	79.8	66.3	+13.5

③【非認知能力に関する検査結果より】 ※令和6年11月実施(全学年) 結果(5段階)

質問事項	第1学年	第2学年	第3学年	学校平均
これからやってみたいことが、たくさんある。	4.46	4.08	4.51	4.34
自分の長所、短所を理解している。	4.30	3.98	3.81	4.04

○「キャリアプランニング能力」に関わる質問や将来の目標に関する質問からは、肯定的な結果が見られた。仕事や生き方に関する学習を計画的に進める中で、自己の将来について具体的なビジョンを持って考える生徒が増えたものとする。(①②③より)

○年間指導計画を見直し、意図的に出前授業を仕組むことで、外部とのつながりが強化された。また、実際に専門性を有した講師から学ぶことで、生徒たちの学習意欲が高まり、理解がより深まった。

○「Nichu Diary」や学習計画、生徒会活動を見直し、共通実践を行ったことで、生徒自らのPDCAサイクルを意識した取組が増えたり、具体的な目標の設定や自分の課題分析ができる生徒が増加したりした。

(2) 研究の課題

●「課題対応能力」に関わる項目では、数値の伸びが比較的小さかった。課題に直面したときの対応力、自己調整力をいかに育てていくかが今後の課題である。(①より)

●出前授業を実施することが難しい教科があった。限られた時数の中で、どのように効果的に授業を組み立てるかが課題である。

●目標や計画の具体性に個人差が見られた取組があり、書くことや計画を立てることが苦手な生徒への支援をより充実させる必要がある。